

Open up the future 2024.7.2



6人の先生方から学ばせていただいた、実り多い1日

社会科荻野教諭のご授業では、社会科部教科提案にある「多面的・多角的」の多角的の具体として、「開発する人」「県の職員」「農家」「スーパーの人」「ホテルのシェフ」「ケーキ屋」という複数の立場から探究してきた子供たちの姿が垣間見られたご授業でした。

本校の校内研究会は2つの分科会に分かれて協議を行うため、両方の協議内容を少しでも知っていただきたいという思いから、この校内研究通信を発行しております。全員で協議できた今回は、協議会の内容をお伝えするという役割から少し逸れて、午前中に公開いただいたご授業を経ての奈須先生のご指導内容を共有させていただきます。

「網羅」から「看破」へ、知識・技能を統合・包括する主要な概念で6年間のカリキュラムを整理され見直された体育科田中教諭のご授業。「パワー」や「ロング」の見方・考え方を働かせて学ぶ子供の姿を見せていただく中で、奈須先生からは6年間のカリキュラムで子供を育てていくことの重要性を改めて説いていただきました。

1年生では扱いが難しい内容項目「我が国の伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」にチャレンジされた、道徳科上田先生「にっぽんのよさ」のご授業。一言に伝統といっても、東アジアで共有している伝統もあれば明治以降に伝わった新しい文化もあります。我が国の伝統とは何かについて、教師として見解を持つておくことの必要性をご指導いただきました。

生活科寺田教諭のご授業では、2年い組で虫を飼うべく、グループごとに懸命に相談し合う子供たちの姿を見せていただきました。生活科では、子供が「暮らす」という営みの中で、気付きよりも「育ち」を大切にすることや、生活科は学問ではないので到達目標もなく、総合学習と軌を一にすること等を教わりました。

国語科野間教諭のご授業では、それぞれの子供が探究しながら「へんしんブック」をつくる姿を公開していただきました。「たんぼのちえ」で扱う「順序」の概念が話題に挙がり、時間の経過と一言で言ってもいろいろある中で、文章構造が明快な自然科学の分野で順序を学ぶことの意味等を教えていただきました。

鍵盤ハーモニカの技能面に向き合ったご授業を公開された山本教諭。鍵盤ハーモニカという楽器の特異性や、一つの楽器のアーキュレーションが多様であることに話が及びました。また、子供に具体の音をいくつか示すことの重要性を教えていただきました。